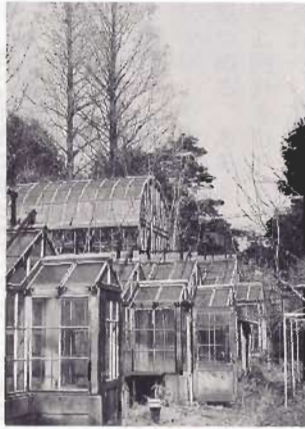


旧学部棟の解体工事が始まる

三月一日、東千田キャンパスで旧学部棟の解体工事が本格的に始まった。第一期工事は文学部、法・経済学部、理学部(本館を除く)、図書館を対象で、この日、法学部・経済学部の渡り廊下部分などで工事が始まった。

古い遺物が時代とともに風化し失われていくのは避けられないにしても、これら解体予定の建物の中には、理学部三号館、附属小学校校舎などの被爆建物が含まれており、広島市では急速これら建物の写真記録の保存に取りかかった。このほか、附属建物の中の、昭和七年六月二十五日に完成した旧理学部本館裏の温室は、当時としてはきわめて斬新なデザインでかつ贅沢でモダンな建築であったが、予定では五月末日までに姿を消すことになっている。



ヨット部、宇品沖で三隻が転覆

三月十一日、宇品灯台南西約二キロの広島湾で練習中の体育会ヨット部のヨット三隻が転覆した。海に投げ出された学生六人は、付近にいた同部の救助艇に助けられ無事だった。広島海上保安部の調べでは、午後三時頃か

現場付近で二人乗りのヨット四隻、救助艇二隻で練習しており、折からの強風で練習を中止し、元宇品町のヨット部艇庫に戻る際に三隻が転覆したもので、事故当時、北風が十、十二メートル吹いており強風にあおられた、とみている。

フレッシュマン スタートフェスタ、開かれる

四月は新入生歓迎行事の予定が目白押しであるが、トップを切って四月三、四日に体育会主催のフレッシュマン スタートフェスタ(フレ・スタ)が開かれる。

このフレ・スタは今年で二回目で、昨年は四月十五、十六日に開催され、新入生約三百名が参加した。

今年は、四月に各学部のオリキャンが予定されていることなどもあり、入学式前の開催となった。主催者である体育会の山下孝志広報局長は次のように語って新入生の参加を呼びかけている。「四月三、四日にフレッシュマン スタートフェスタが開かれる。その名のとおり新入生のための、しかも全学部対象のイベントだ。HUSA(広島大学体育会)では、新入生の大学生活への不安を吹き飛ばし期待を膨らませるために、学内オリエンテーション大会、豪華賞品付きの大クイズ大会などのさまざまなおもしろい企画を用意している。優しく頼りがいのある先輩たちも待っているし、友だちだっすぐにできること間違いなし。さあ、その新入生諸君、希望あふれる大学生活の輝く明日への第一歩を踏み出すために、いざ、フレ・スタへの扉を開かん。フレ・スタは君たちの熱い期待を待っている」。

畜産体験を総合科目として開講

総合大学の良さは、文科系から理科系まで幅広い教養教育が受けられることにある。平成九年度からの教養的教育の改革に先立ち、生物生産学部では附属農場で、全学部の二年生以上を対象に畜産体験学習を始める。

今回の講義は、家畜に触れる機会がなくなった学生に、農業や環境問題を考えてもらう初めの試みで、前期に二単位を与える正式の講義。

全十五回の講義は、飼料のトウモロコシ栽培に始まり、牛の人工授精や乳搾り、ソーセイジやヨーグルトの加工実習などの実技のほか、家畜の歴史やヨーロッパを中心にかけている家畜のケージ飼育を許さないとする「家畜福祉」の運動や思想について学ぶ。

今回の体験学習について山本植紀(やまもと・さだき)附属農場長は、「作物や家畜にじかに触れながら自らの感性を磨き、今日の食料・人口・貧困・環境などの地球規模の課題について、地に着いた視点から学び、考える力を身につけてほしい」と今回の試みに期待をかけている。



広大生協ベストセラー・トップ・テン

- ①公務員試験受験ジャーナル3号 実務教育出版
- ②「題」勉強法 野口悠紀雄 講談社
- ③地方上級完全攻略ブック97 実務教育出版
- ④各社四季報学生就職版97 東洋経済新報社
- ⑤ソフィーの世界 ヨースタイン・ゴルダール NHK出版
- ⑥マスコミ就職読本 放送・広告編 月刊「創」編集部 創出版
- ⑦禁酒法 源浩邦夫 講談社現代新書
- ⑧発表の技法 浜田雅功 光文社
- ⑨読め! 立花隆 文芸春秋
- ⑩ほくほこんな本を読んできた 4
- ⑩スノーピーのもっと気楽に
- ⑩時事キーワード1996&1997 時事通信社
- ⑩マスコミ就職読本新聞・出版編 月刊「創」編集部 創出版
- ⑩朝日キーワード 96&97 朝日新聞社
- ⑩正義論/自由論 土屋恵一郎 岩波出版

広報委員会では、本誌の基本的な編集方針と投稿規定を次のとおり定めております。

本誌に関するご意見、ご要望などをお寄せください。原稿をお待ちしております。

★編集基本方針

- 一、本誌の責任機関の意志あるいは決定された内容の伝達と周知
- 二、本誌の状況についての報道と資料の提供
- 三、本誌にかかわる意見の交流

★投稿規定

- 一、文字数は二千以内とします(図、写真は、一枚を二百字と換算。原稿は、原則としてMS-DOSのテキストファイルのフロッピーディスクに記入し、ハードコピーと図表を別途添付してください。)
- 二、本文には、四百字程度で小見出しをつけてください。
- 三、原稿は原則として掲載します。ただし、特定の個人及び団体を誹り中傷する原稿または本誌の目的や性格に照らして不適当と思われる原稿は、掲載しません。
- 四、採否は広報委員会が決定します。
- 五、提出された原稿は、掲載の有無にかかわらず、返却いたしません。

★次号は二十八期第一号として六月上旬に発行予定です。